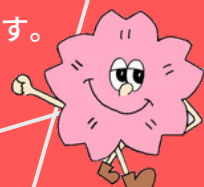


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

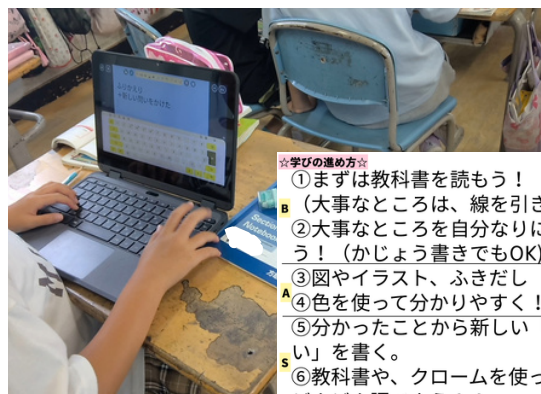
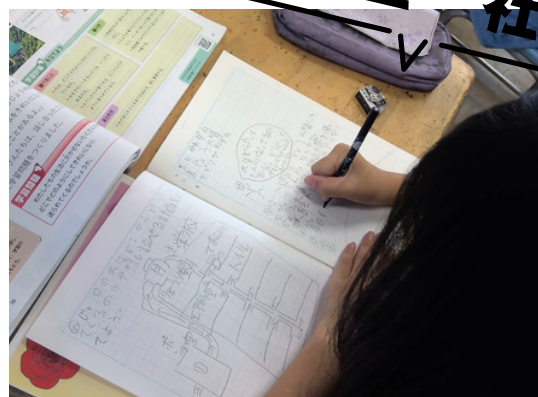
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



4年生 社会

授業の様子（表現）

「学校の蛇口を調べ、蛇口の水はどこから、どうやって来るのかを調べる計画を立てよう」というめあてで学習していました。まずは教科書を読みながら、学校の水道について知っていることや、水について気になることを出していました。その中から、これから調べていきたいことを考え、学習の計画を考えていました。



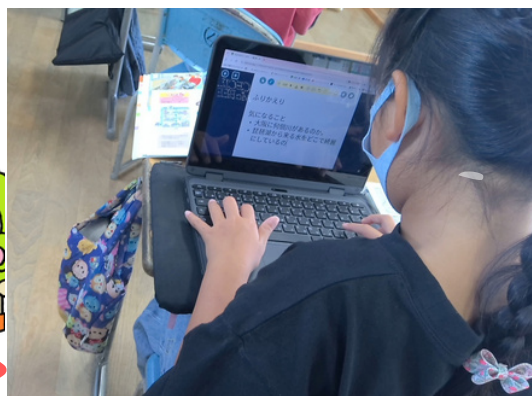
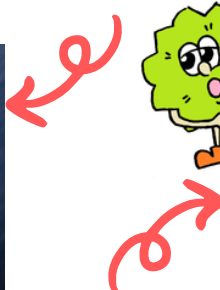
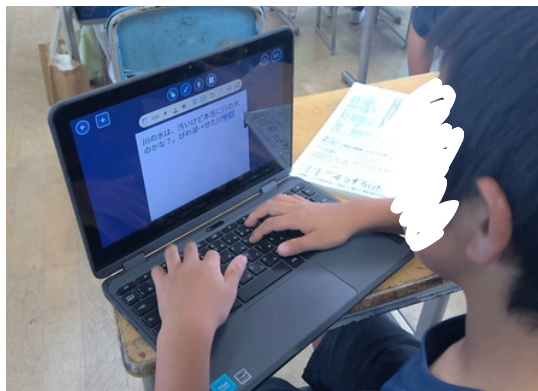
- ☆学びの進め方☆
- ① まずは教科書を読もう！
 - ② (大事なところは、線を引きながら)
 - ③ 大事なところを自分なりにまとめよう！ (かじょう書きでもOK)
 - ④ 図やイラスト、ふきだし
 - ⑤ 色を使って分かりやすく！
 - ⑥ 分かったことから新しい「自分の問い」を書く。
 - ⑦ 教科書や、クロームを使ってさらにどんどん調べよう！！

学びのつながり

教科書を読みながら、水について「もっと知りたいこと」や「調べてみたいこと」を一人ひとりが見つけていきました。学んだことから新しい問いをつくり、それをもとに調べる計画を立てることで、これからの学習につなげていきます。まとめ方も、ノートやロイロノートなど、自分に合った方法を選んでいました。

すてきな姿 ✨

「水はどこから来るのかな？」「どうやって蛇口まで来るのかな？」と、教科書を読みながら気になることを見つける姿が見られました。



友だちと気付いたことを伝え合う中で、自分では気付かなかったことにも目を向け、「もっと調べたい！」という思いをふくらませていました。